

浜松市農業振興ビジョン

浜松市農業の現状

環境と活力が本市の農業を支えています

浜松市は、日本のほぼ中央に位置し、全国で2番目の市域を有しています。日照時間が長く、気候が温暖で、急峻な中山間地域から扇状に広がる平野部、海岸線までと多様な地形を有しています。このように豊かな自然環境の中で170品目を超える農産物が生産され、農業産出額全国7位、総農家数全国1位、農業就業人口全国3位となっています。また、全国初となる促成栽培を行うなど、新しいことに挑戦する“やрмаいか精神”や先人達が取り組んだ農業基盤の整備などにより浜松市の農業が発展してきました。

市民の「暮らし」を支える農業を、みんなで振興していくことが必要です

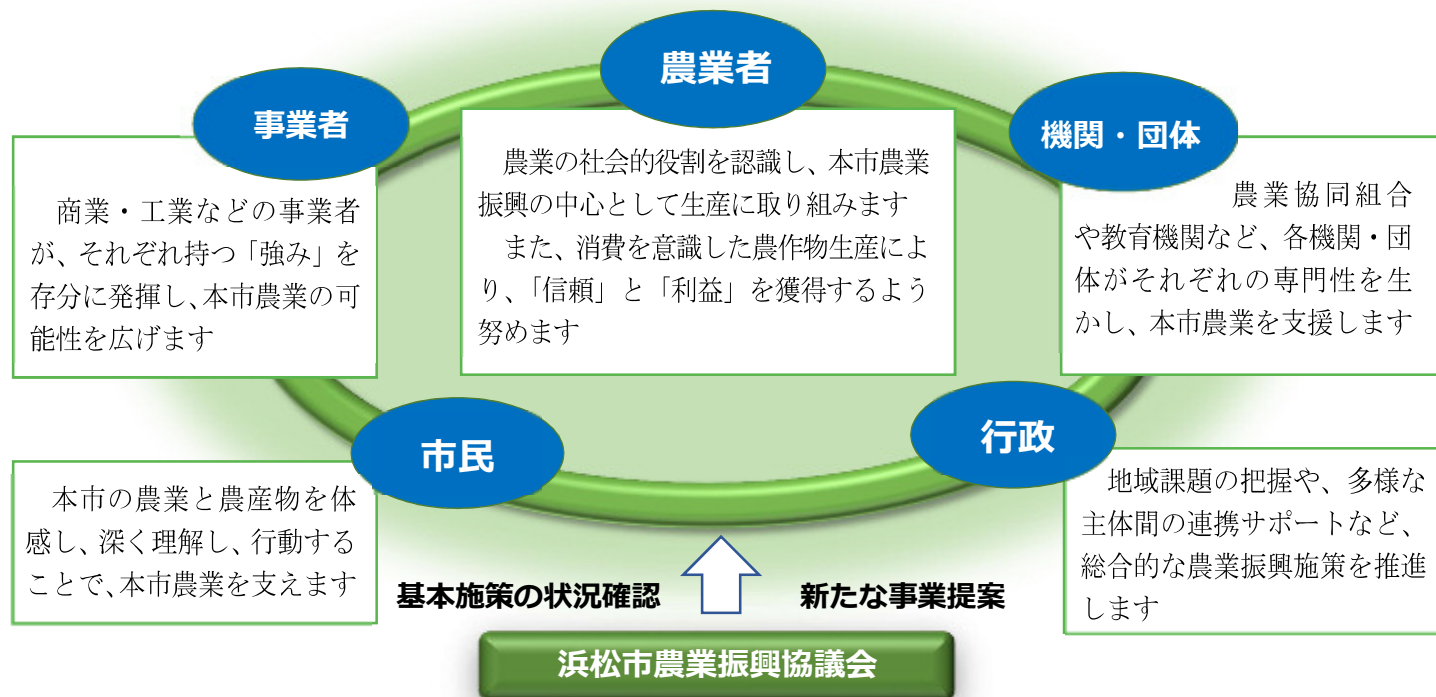
しかし、近年は高齢化、後継者・労働力不足、収益の減少等を理由に、農家数が減少しており、今後、経営耕地の減少・分散が急速に進むことが懸念されます。一方で、高い経営意欲を持って作業効率化や規模拡大により活躍している若手農業者も増えつつあります。

本市の農業が持続的に発展するためには、全市民が目指すべき方向性を共有し、みんなの「暮らし」を支える農業の振興に取り組むことが必要です。さらに、農業者も経営的な視点を持って生産することが必要となっています。

推進体制

オール浜松による農業振興を目指します

農業者はもちろんのこと、多様な主体が連携し、オール浜松で農業振興を図っていくことが重要です。計画期間中は、市民や農業関係者などで構成する「浜松市農業振興協議会」が基本施策の状況を確認するとともに、新たな事業提案を行います。



基本理念

チャレンジ・工夫で「もうかる農業」を実現する



「もうかる農業」とは、小規模から大規模まですべての農業者が収益を上げることにより、農業が持続的に発展することをいうのじゃ！
これにより市民も安心して豊かな食を楽しむことができるのじゃ！

計画期間 2019年4月1日～2025年3月31日

本ビジョンの期間は、30年後の本市の将来像を描いた「浜松市総合計画/基本構想『浜松市未来ビジョン』」を受け、10年間の基本計画を定めた第1次推進プランの終期に合わせた6年間とします。

	基本方針	基本施策
「営む力」	「経営者」の意識を醸成し、市場競争力の高いビジネス経営体を育成する 多様な人材が働きやすい環境を整える	①ビジネス経営体の育成 ②「経営者」意識の醸成 ③多様な担い手の確保
「売る力」	戦略を明確にし、販路拡大や付加価値の創出を目指す 消費者とのつながりを強化し、相互利益を生み出す	④6次産業化やブランド化による付加価値づくり ⑤輸出販売を含む販路拡大 ⑥マーケティング戦略を持った農業者の育成 ⑦安全・安心な作物の生産と流通
「産む力」	農地の集積・集約により強い農業経営の実現を図る 先端技術の活用や栽培技術の向上により生産性を高める	⑧安定した農地の確保 ⑨優良品種、気候変動に対応する作物の生産 ⑩ICT、省力化技術等の導入 ⑪栽培技術の継承と業務改善の実施
「守る力」	農地の果たす多面的機能を理解し、農地を守り、農村環境を次代に伝えていく 農業生産の基盤を整備し、良好な営農環境を確保する	⑫農地の保全、耕作放棄地の解消、農村環境の維持 ⑬農業生産基盤の整備、施設の耐震化・老朽化対策 ⑭鳥獣被害対策
「地域の力」	浜松産農産物の豊富さ・美味しさを実感し、伝えていく 自然豊かな農山村を地域資源として活用し、活気をもたらす	⑮食農教育、地産地消の推進 ⑯浜松農業の理解と情報発信 ⑰観光資源としての農山村の活用